

フードドライブについて



◀みなさまより、お米や麺などの食品の寄付をいただきました。

これらの食品は、困っておられるご家庭等の必要とされる方へお届けします。

ご協力ありがとうございました。

★多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷の玄関入口に
フードボックスを設置しています★



【フードボックスに入れていただきたい食品】

※未開封で賞味期限が1か月以上残っているものでお願いします。

●缶詰類、レトルト食品、インスタント食品、瓶詰類、乾物類、ふりかけ、乾麺など。

●お米も大歓迎です。

皆さまのあたたかいご協力をお待ちしています。

～あなたが主役“おたがいさま”の地域づくり～

ふくしたか

2025 年
9 月号

中川原サロン

子どもたちとの交流を楽しまれています。



困ったときは「とりあえず・なんでも」ご相談ください。

社会福祉協議会では、相談窓口を開設しています。



心配ごと相談所

みなさんの暮らしの中の心配ごと、悩みごとなど何でもご相談ください。

※予約はいりません。秘密は厳守されますのでお気軽にお越しください。

時 間 午前 9 時～午前 11 時まで
場 所 多賀町総合福祉保健センター
ふれあいの郷 ボランティア室
相談日 令和 7 年 9 月 16 日(火)
令和 7 年 10 月 16 日(木)

弁護士による

無料法律相談

日常生活における悩みの中で、法律的な知識が必要な問題に対して、弁護士が相談をお受けします。秘密は厳守されますので、安心してご利用ください。

時 間 午後 1 時 30 分～
場 所 多賀町総合福祉保健センター
ふれあいの郷 ボランティア室
相談日 令和 7 年 9 月 30 日(火)
令和 7 年 10 月 28 日(火)

※相談を希望される方は、事前に電話でご予約ください。1 日 3 組限定です。(先着順)



生活困窮者自立支援制度

- 収入が不安定で家賃や税金の支払いが難しくなってきた。滞納している。
- お金のやりくりがうまくいかず、家計が困っている。
- 長く働いた経験がなく、仕事に出ることに不安を感じている。

*もう一人で悩まないで！

あなたのお悩みをご相談ください*

(相談無料・秘密厳守)



地域福祉権利擁護事業

- お金の管理に困っている
- 通帳やハンコ、財布を置き忘れる
- 福祉サービスなど生活費がうまく使えない
- 福祉サービスなど申請手続きや契約の方法が難しい
- いつも探し物をしている
- 不安を口にしている

生活費の相談や通帳やハンコ、証書などの預かり



ご近所の高齢の方や、
離れて暮らしておられる
親御さんなどにこのような
ことはありませんか？

敏満寺サロン

大人も子どももたくさん集まりました。



【編集・発行】社会福祉法人多賀町社会福祉協議会

犬上郡多賀町多賀 221 番地 1 多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷内

電話：0749-48-8127 / 有線：2-2039 / FAX：0749-48-8140

ホームページ：https://www.taga-shakyo.or.jp

Email：tagashakyo@ex.biwa.ne.jp

▼ホームページ



【お問い合わせ・相談先】

社会福祉法人多賀町社会福祉協議会 多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷内

電話：0749-48-8127 / 有線：2-2039

8 時 30 分～17 時 15 分(土日祝日・年末年始を除く)



災害ボランティア講座のお知らせ

災害が起こったとき、私にも何かできることがあるかもしれない！
そんな「何かできるかもしれない！」のきっかけづくりとして、体験型の講座をひらきます。
みなさん、一緒に体験しませんか？

1日目

令和7年10月9日(木) 午前9時30分～11時30分

「避難所体験ゲーム」とおして知ろう！

講師：日本赤十字社 滋賀県支部

まずは自分の身を守るが一番大切です。もし、避難所に行くことになったら…避難所ではどんなことが起こっているのか！ゲームとおして体験します。



2日目

令和7年10月23日(木) 午前9時30分～11時30分

「災害ボランティア」にはどんな活動がある？

講師：日本赤十字社 滋賀県支部

災害ボランティアにはどのような活動があるのでしょうか。
力仕事だけでは無い！「災害ボランティアセンター」の運営のお手伝いなど、みなさんの力が、発揮されることもあるかもしれません。



シミュレーション
してみよう！

3日目

令和7年11月12日(水) 午前9時30分～12時

災害ボランティアセンター運営の訓練を
してみよう！

日赤奉仕団による「炊き出し訓練」も一緒に！

実際に「災害ボランティアセンター」の運営をみなさんと一緒に行ってみましょう。隣では、日赤さんによる炊き出しも行われ、実際に近い体験をしてみましょう。



皆々まのぞ参加を
お待ちしております

【場所】

3回とも、多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷3階 多目的室

【お問合せ先・申し込み先】※土日祝を除く

社会福祉法人多賀町社会福祉協議会 電話 0749-48-8127 有線 2-2039

わた SHIGA 輝く障スポ 2025 出場！

小島慎弥選手 壮行会開催のご案内

多賀町身体障害者更生会の会員である小島慎弥さんが、わた SHIGA 輝く障スポ 2025、車いすバスケットボール競技に出場されます。地域の皆さまとともに、小島選手のこれまでの努力をたたえ、今後のご活躍を祈念する壮行会を開催いたします。つきましては、下記のとおりご案内しますので、ぜひご出席ください。



小島慎弥選手
LAKE SHIGA B.B.C 所属

【日 時】令和7年10月14日(火) 16時00分～17時00分

【場 所】多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷 いきいきホール

【問合せ】多賀町社会福祉協議会

TEL:0749-48-8127 (※土日祝を除く)

滋賀県レイカディア大学 第47期学生 2次募集のご案内

★レイカディア大学とは…？

誰もが自分らしく幸せを感じられる「健康しが」の実現を目指し、シニアが新しい知識や教養・技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるシニア大学です。

★2次募集の対象者

【彦根キャンパス】園芸学科/北近江文化学科/健康づくり学科

★お問い合わせ先

滋賀県レイカディア大学彦根キャンパス
〒522-0074 彦根市大東町 2-28(COZY TOWN アル・プラザ彦根4階)
TEL:0749-21-6333 メール:leidai-hiko@shigashakyo.jp

2025年
10月入学

詳しい案内は
社協ホームページを
ご確認ください



10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金運動が 始まります！

今年も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。多賀町の皆さまからいただいた募金は、町内の福祉活動につかわれます。

今年も、皆さまの温かいご協力をお願いします。

令和7年度 福祉のつどい 多賀町中央公民館「多賀結いの森」ささゆりホールにて開催しました。

令和7年6月22日(日)に、「福祉のつどい」を町と社協の主催で開催しました。当日は、300席がほぼ満席となるほどの町民の皆さまに來場していただきました。

オープニングはDドラファミリーさんに演奏をしていただきました。Dドラファミリーさんは現在、様々な地域イベントや福祉施設などから出演依頼を受け活動されています。心に響く素敵な演奏をありがとうございました。

次に、はつらつシニア活動報告として土田ひよこクラブの皆さんに「土田 DE サンバ」を披露していただきました。ご自身で製作されたという衣装を身にまとい、元氣よく踊っていただきました。

そして、町制70周年の記念講演として諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生に、『はつらつシニアが輝くまちに～心も体も10歳若返り！笑って健康と幸せをつかむ「鎌田式健康法」～』をテーマにご講演いただきました。

鎌田式スクワットなどの運動方法や食事方法、認知症について気をつけることなど、毎日をはつらつと元気に暮らすためのヒントをたくさんいただきました。

お越しいただいた方からは、「早速生活の中に取り入れたい」「また機会があったら、つどいに参加したい」などのお声をいただきました。



▲Dドラファミリーさんの演奏



▲土田ひよこクラブ「土田 DE サンバ」を披露



▲鎌田先生の講演



●鎌田先生、Dドラファミリーさん、土田ひよこクラブさん、開催にあたりご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

令和7年度 平和のつどい 多賀町中央公民館「多賀結いの森」ささゆりホールにて開催しました。

令和7年8月9日(土)に、「平和のつどい」を開催しました。このつどいは、過去の戦争を振り返り、平和の尊さを認識し、未来の世代にどのように平和を伝えていけるかをともに考える機会となるよう毎年開催しています。

今年のつどいでは、鹿児島県の知覧特攻平和会館等を訪れた多賀中学校の神鳥結斗さんと田中基博さん、多賀小学校の澤田昂大さんの3名に感想文を発表していただきました。

訪問先で目の当たりにした特攻隊員たちの過酷な運命や、その犠牲に込められた想いに触れ、戦争の悲惨さを決して忘れないという強い誓いと、平和の大切さを次世代に伝えていこうという使命感が込められた発表となりました。

さらに、滋賀県平和祈念館の演劇グループの皆さんに演劇「俺は生きてかえる」を上演していただきました。

この演劇では、家族の死や軍隊での上官からの理不尽な命令や暴力の数々、シベリア抑留の極寒の地での重労働と飢えなどに耐え抜く主人公の姿が描かれていました。

戦争が人々にもたらす計り知れない苦しみと、個人の尊厳がどれほど簡単に奪われてしまうかを痛感する演劇でした。

このつどいを通じて、戦争の悲惨さや命の尊さを改めて心に刻むことができました。平和について私たち一人ひとりが考え、守り続けていくために、これからもこの場を大切にしていきます。

ご参列いただいた皆さま、開催にあたりご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



▲献花の様子



▲滋賀県平和祈念館の演劇グループ
演劇『俺は生きてかえる』



▲パネル展示の様子